

1. 実施時期 2022年5月2日～5月13日 新型コロナウイルス感染症対策として郵送にて
評議員による第三者評価委員を実施、集計

2. 評価者 【評価者】(評議員) 14名 【回答者】7名 【未回答】7名

3. 評価結果

学校からの報告や資料をみて、下記の項目について4段階で評価してください。

【評価方法】*()内はポイント

- A. 十分に達成されている(4) B. 達成されている(3)
C. 取り組まれているが成果が十分ではない(2) D. 取り組みが不十分である(1)

1. 改善の方策やご意見について特に何かある場合、記載してください。

(1) 教育理念や目的について

評価：A. 2 B. 4 C. 1 D. 0 3. 1

(改善の方策やご意見)

- ・一人ひとりの咲くべき花を咲かせるとは、「子どもの教育にとってどうしても譲れない価値を基本として、どう関わりを子どもたちとしていくか(先生側)、そして子どもたちがどう学びを進めていくのか」ということであれば、譲れない価値を明確にしていくことにあると思います。
- ・建学の精神を重んじ、ミッションスクールであることを自覚し努力して欲しい
- ・ミッションスクールであるという特色を色濃く掲げたカリキュラムの追加を期待します。全人教育の根底にある信仰、希望、愛の実践のための宗教に触れる機会と、自己肯定感の構築についても継続して取り組んでいただきたいと思います。
- ・男女共学の旭川藤星高校となっても、本質は変わることなく進化されていると思います。

(2) 本年度の重点目標や経営方針について

評価：A. 1 B. 4 C. 1 D. 0 3. 0 (未回答1)

(改善の方策やご意見)

- ・保護者、生徒そして地域とともにある学校であって欲しいです。地域からの信頼を得るには、一部の先生や生徒の関わりではないようにお願いします。(全体で進めてください)
⇒全ての生徒が地域に対して意識や関心、愛着を持つような連携など、地域に人材を輩出する学校であって欲しいです。

(3) 多様な教育、特色ある教育に対する支援について

評価：A. 1 B. 4 C. 1 D. 0 3. 0 (未回答1)

(改善の方策やご意見)

- ・アクティブラーニングの実施やICT機器の先駆けた導入は評価されます。今後、他校も取り組みをしてきますので、もう一步先に進んでいけることを期待しています。
- ・子ども達がどれほど支援されているか具体的に分からない。ミッションスクールという特色はもっと色濃く触れる機会を増やした方が良いのかと。

(4) 教育の成果について

評価：A. 2 B. 5 C. 0 D. 0 3.3

(改善の方策やご意見)

- ・進路状況からは、進学希望が多いことが読みとれます。私は生徒に対しては、PDCA の考え方よりも、AAR サイクルといった方がしっくりします。
- ・各コースがそれぞれのプログラムで学習されている成果が出てきているのではないのでしょうか。
- ・藤星男子一期生の進路について教えて下り有り難うございます。人生において大学も通過点の一つであり、その先に何を拠るか……。卒後の follow は難しいと思いますが、卒後キャリアの形成相談にもものってあげられたらと願います。
- ・男女共学になってからの取り組みは努力されていると思いますが、男女共学の大学の推薦枠を増やす（女子大の枠も残して）など、男子生徒の進学先の選択肢をより多くすることが重要であると思います。

(5) 教員研修など教員の資質向上への取組について

評価：A. 1 B. 3 C. 2 D. 0 2.8 (未回答1)

(改善の方策やご意見)

- ・時間講師を取り入れるとするならば、専任講師と同じような「質」が求められます。「質」のばらつきは、学校評価にもつながると思いますので。
- ・時間講師の先生が多かったり、高齢の先生が多く、ベテランでバリバリ出来る先生が少ないように思います。教員の質向上が必要ではないでしょうか。
- ・カトリック高校における教職員への宗教教育の充実を願います。

(6) 生徒募集活動について

評価：A. 3 B. 3 C. 1 D. 0 3.3 (未回答0)

(改善の方策やご意見)

- ・達成されたのではないかと思います。UL コースが本校の特色の一つでもありますので、コロナ禍の中ではありますが国際交流に務めて下さい。
- ・とても積極的に活動されていると思いますが、今ひとつ学生さんが藤星を選んでくれないのが残念です。今以上に他校との差別化をアピールする必要があるのでは。多少、お金をかけ過ぎでは？と思う点もありますが。
- ・コロナ感染の中で考えられた工夫ある募集活動に苦心されたことと思います。日数はとられませんが、分散したカリキュラムで体験型の高校生活マナビを多くの中学生、特に男子に体験していただけたら・・・と感じております。

(7) 教育に関する環境について

評価：A. 2 B. 4 C. 0 D. 0 3.3 (未回答1)

(改善の方策やご意見)

- ・常に最新機器を確保することは大変かと思いますが、宜しく願います。高大連携が出来ると良いと思います。(地域や修学旅行等で交流や授業参加出来ると特色があります)

(8) 保護者、住民への情報の公開や連携について

評価：A. 2 B. 3 C. 1 D. 0 3.2 (未回答1)

(改善の方策やご意見)

- ・自己評価から読みとれるところで評価しました。
- ・保護者に対しては情報が発信されていますが、OB・OG、住民に対しての情報発信がされていないのでは。OB・OGの部分で同窓会がお手伝い出来ることがありますか？情報共有は可能ですか？

(9) 学校の危機管理や法令順守について

評価：A. 1 B. 4 C. 0 D. 0 3.2 (未回答2)

(改善の方策やご意見)

- ・自己評価から読みとれるところで評価しました。
- ・具体的にどのようなことをしているのか分かりません。
- ・学校運営において、この項目があることが、大事にしていることだと思います。

(10) 社会貢献・地域貢献について

評価：A. 1 B. 3 C. 2 D. 0 2.8 (未回答1)

(改善の方策やご意見)

- ・コロナ禍で活動できないことも多いので、生徒・地域がどのような思いでいるのかを明らかにして、その中で取り組めることを考えていって欲しいと思います。
- ・コロナ禍の中で大変な状況の中でも工夫をして積極的に貢献して欲しいです。
- ・コロナ禍の影響で、ボランティア活動が中止になっているのは残念ですが、仕方がないです。

2. その他、本校の取り組みに対するご意見をお願いします。

- ・自己評価の結果がCが多いことに驚きましたが、真摯に向かい合おうとする姿勢であることが読みとれて好感を持ちました。富良野市内の高校への進学は70%を切るまでできています。2025年度あたりで2校が統合することになりますが、特色のある高校として多様なニーズに対応するには教員の力が重要になってくるものと考えています。藤星高校においても同じかもしれませんね。藤の伝統を大切にお願いします。
- ・少子化が進む中、定員の新生を確保されている点は素晴らしいと思います。共学化になりましたが、藤高校からの校風が大きく変わることなく、地道な教員の努力の成果だと思います。
- ・とても素晴らしい高校であると思っております。